

挑戦してスキル・能力を磨く気持ちよりも失敗への不安が強く、
新しい取組みに消極的になってしまう方へ



中部産業連盟

会場受講



オンライン受講
(Zoom)



若手・中堅社員のための

「失敗を確かな成長につなげる」仕事術

と き

2026年 9月 25日(金) 9:30~16:30

開催形式

会場(中産連ビル 研修室) または オンライン(ZOOM配信)

ご参加
いただきたい方

● 若手・中堅社員の方、部下を育てたい管理職・リーダーの方

※その中でも特に、

- ① 挑戦しなければ成長できないことはわかってはいるが、その一歩がなかなか踏み出せない方
- ② 今まで何度か失敗した経験がある中、それらの経験が成長につながった実感を持ってない方
- ③ 失敗の経験を良質な成長に昇華(転化)できる考え方や取組み方を身につけたい方

失敗が持つ本当の価値を知ることができれば、挑戦への心理的な抵抗はなくなる！

- ❖ 失敗すると仕事がデキない人認定されて人事評価が下がるので、できる限りチャレンジはしたくない…
- ❖ 失敗してもいいと上司に言われるが、その上司が過去失敗をどう成長につなげてきたか話してくれたことがない…
- ❖ 失敗すると自己肯定感や自己効力感が下がるので、そうなった時の心境に耐えられる自信がない…

巷では近年このような若手・中堅社員が増えていると言われています。

その背景には、日本経済の成長が停滞していることで時間や資金(費用)などのコスト面を理由に失敗に対して寛容になりにくい企業・職場環境になってしまっていることが原因かもしれません。

そもそも、人はなぜ失敗することを恐れてしまうのでしょうか？

歴史を見れば失敗の積み重ね(試行錯誤)が社会や経済を進歩させてきたことは誰もが知るところです。

日本では多くの企業の絶ゆまぬ挑戦によって戦後から現在まで80年にわたり大きな経済成長を遂げてきました。

その過程は失敗と成功の連続で、それらの集積が現在の経済発展につながったことに間違いはありません。

つまり、そこには「成功の前に数多くの失敗(試行錯誤)があった」ということです。

それでも失敗を恐れてしまうのは「社会における失敗への捉え方や見なし方」に原因があります。

失敗することの真の価値をポジティブに言語化できず、ほぼリスクや結果(責任)にのみ焦点を当てて判断してしまうのは、

その後に成功することで得られる「質的・量的な価値」やその体験で得られる「精神的な充足」や「自己成長」の足かせになります。

実際、今日の日本の多くの企業では、このような価値観や思考様式がもはや企業文化として定着してしまった感があり、失敗への寛容性も高度成長期と比較してかなり失われているようです。

◆このままでは日本の企業から新しい製品・サービス・活力が生まれる土壌が貧弱になってしまう…

また、2025年までのユニコーン企業(設立から10年以内の未上場のスタートアップ企業で、企業価値の評価額が10億ドル=約1,600億円以上)の数を見てみると、アメリカが650社前後、中国が170社前後、インドが70社前後、イギリスが50社前後で、**日本はわずか6社**と大変残念な状況になっています。

その原因には、やはり「**失敗への考え方**」が深く根差しています。日本では失敗は恥ずべきことであり、失敗すると犯人探し(個人への責任追及)に終始する傾向がある中、**アメリカでは失敗への原因追及は構造やしくみに求めます。**

そうすることで、**失敗しても個人が過度に責任を負うことなく、またいつでも敗者復活戦に挑める文化が定着している**のです。

そこで、本研修では、

- ✔ 失敗することが持つ真の意味と本質的な価値(将来面・精神面)
- ✔ 現状維持(挑戦しないこと)がいかにハイリスクで無意味な(もったいない)選択なのか
- ✔ 失敗する経験を資本(自分&会社)に変える仕事への向き合い方(次の機会への活かし方)

を理論×実践によって学び、**明日から「失敗を確かな成長につなげる」仕事術を実践していくことができるようになります。**

「失敗が怖くてチャレンジできない方」、「このままチャレンジすることなく失敗を避け続けて本当に良いのか不安めいたものを感じている方」は、ぜひ本研修にご参加ください。失敗に対する考え方が一新(アップデート)される貴重な機会になるでしょう。

◆ 研修プログラム（9:30～16:30）

1. 失敗について

講義&演習

(1) 10種類の失敗原因とそれぞれが持つ性質
(2) 失敗が持つ意味と本質的な価値
(3) 今でも忘れられない失敗について考えてみる

2. 失敗を「良質な経験(レバレッジ)」として成長につなげる方法

講義&演習

(1) 失敗を良質な経験にする思考モデル ～経験学習サイクル
(2) 自分が立ち直れていない失敗を経験学習サイクルに当てはめて考えてみる
(3) 「千三つ」という言葉が持つ意味 ～打率よりも打席。失敗と成功は紙一重
(4) 両利き(深化と探索)の経営を自分の能力開発に活かす
(5) 両利きの経営を人材育成で実践している企業の取組み事例
(6) アリの巣に見る滅びる組織と生き残る組織、それぞれの特徴

3. 「失敗を織り込んだ仕事」が持つ真の意味

講義&演習

(1) ハインリッヒの法則(1:29:300)の真の意味
(2) なぜ、日本では失敗が「許容されにくいのか」
(3) ユニコーン企業を多数輩出するアメリカの文化的背景
(4) 管理強化が生み出した負の副産物 ～知好楽

(5) マニュアル化に潜む罠 ～ISO、品質管理手法
(6) 日本人が改革や構想より改善に長ける理由
(7) 1度失敗したら終わりの国と失敗がキャリアになる国が持つ文化の違い
(8) 失敗を“宝”にする企業の取組み事例
(9) 組織と時間軸で見る失敗が生まれるメカニズム
① 組織構造 ～重なり組織、すぎ間組織
② タイムライン ～萌芽期、発展期、成熟期、衰退期、破滅期
(10) 失敗を成長に変えやすい組織は中央集権型か自律分散型か？

4. 歴史的偉人の失敗と立身出世から見る「失敗への向き合い方」

講義

(1) 事例紹介
(2) 偉人の失敗と立身出世から通底して見える失敗への向き合い方

5. 総合演習

演習・意見交換・フィードバック

(1) 失敗を個人の人的資本(自分の資産)に変える仕事への向き合い方を考える
(2) 失敗をチームの資本に変える仕事の向き合い方を考える

6. 総まとめ

・ 全体の振り返り・ アクションプランの設定・ 講師からのエール

講 師

小橋川 祐樹（中産連 プロフェッショナル）

大学卒業後、経済団体にて人事評価制度改革に携った後に欧州へ留学。組織心理学や動機づけ心理学について現地のプロコーチ養成機関で知識体系を学び、クラブチームでの指導で実践技術を磨く。帰国後、外国語通訳や講師を経て(一社)中部産業連盟に入職。公開&企業内研修の企画をはじめ、研修コンテンツの開発&プロデュースに携わる。組織開発、教育体系構築&運用支援コンサルティングをはじめ、不確定で正解がない時代のビジネスパーソンの活躍支援に向けて先進かつニッチなテーマ(加速成長を実現する仕事術/状況判断力の養成/続ける力・やり抜く力/仕事を教わる技術/言語化力/内発的動機づけ力など多数)において研修講師を担当する。これまで携った企業向けの研修は公開&企業内研修を合わせて3,000件にのぼる。受講者一人ひとりにカスタマイズした研修後のフォローアップ支援も好評を得ている。

若手・中堅社員のための「失敗を確かな成長につなげる」仕事術（9/25） 参加要項／参加申込書

参加費（1名様）

	中産連会員	中産連会員外
セミナー受講のみ	36,300円(消費税込)	41,800円(消費税込)
フォローアップ(事後行動支援)★付き	42,900円(消費税込)	48,400円(消費税込)

★研修での学びと実際の実務とを紐づけ、行動とマインドの変容を講師がしっかり後押しします！

申込方法

●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp)
申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。
●FAXでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。
●フォローアップ(事後行動支援)を希望される方は下記申込書の欄に「レ」を入れてください。
※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。

受講までの流れ

<会場受講の場合>
受講票と請求書を開催日の約2～3週間前に申込責任者宛へ郵送します。
<オンライン受講の場合>
①開催日の約1週間前になりましたら、「参加用URL」「ミーティングID」「パスコード」をメールにてご案内します。
②テキストと請求書は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。
【オンライン受講の注意事項】
・配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。
・接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。
・IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外への使用はお断りします。
・研修の撮影・録音は固くお断りします。

キャンセルについて

お客様の都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。
・会 場 受 講 の 場 合 ： 開催日の前日（土日祝日を除く）・当日・・・・・・受講料の100％
・オンライン受講の場合 ： テキスト発送後（開催日の約1週間前）・・・・・・受講料の100％
※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。
営業日の17:30以降のご連絡は、翌営業日の取り扱いとさせていただきます。

申込み・問合せ先

一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 小橋川
〒461-8580 名古屋市中区白壁3-12-13 TEL052-931-9824 e-mail : kohashikawa@chusanren.or.jp

会社名

〒

所在地

TEL

FAX

参加形態	フォローアップ (事後行動支援) を希望(✓)	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス
☐ 会場 ☐ オンライン				
☐ 会場 ☐ オンライン				

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	今回ご記入いただく個人情報、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。 同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記に①点のご記入をお願い致します。 ☐ セミナーなどの関連情報の案内を希望しない
		百万円	人	
中部産業連盟会員(○印をお付けください)		会員 ・ 会員外		

一般社団法人 中部産業連盟

中産連

FAX 0120-342-340

マネジメント研修事業部 小橋川 行